

2年生 生命(いのち)の安全教育 6月8日(火)

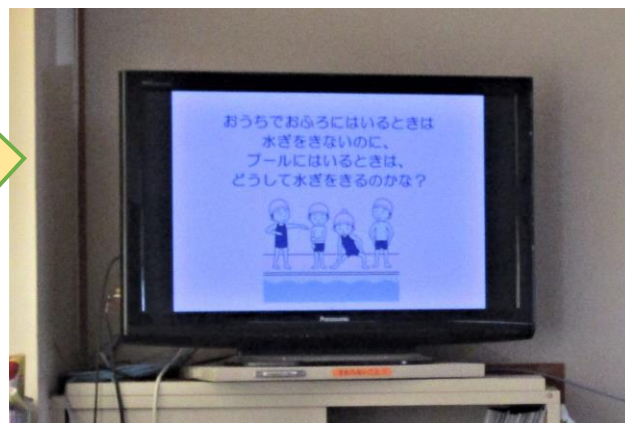


「自分の体の大切なところ」について考える学習です。保健指導とも関連があります。

学習のめあてを担任と確かめた後、養護教諭が指導にあたりました。

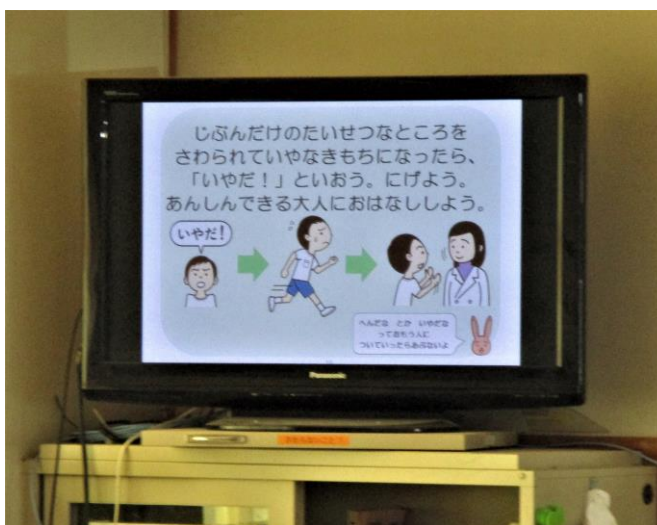
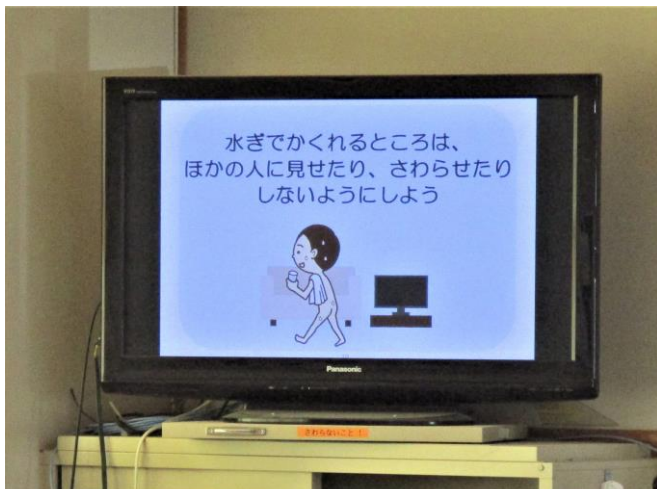
お風呂とプールの入り方の違いから、「水着でかくすところ」に目を向けていきます。

児童は始めの頃、照れ笑いを浮かべながら答えていましたが・・・



「水着でかくれるところは自分だけの大切なところ」であることを理解し、次第に真剣な表情で話を聞くようになっていきました。





プライベートゾーンは自分だけの大切なところです。たとえ、仲よしや身近にいる人でも、触れてはいけないところです。もし、さわられるようなことがあったら、しっかり拒み、大人に助けを求めるよう指導しました。

この授業は「生命の安全教育」の授業です 第一小学校では6月を強化月間とし、全学級で授業を行います 性犯罪・性暴力の根絶に向けて、誰もが、加害者にも、被害者にも、傍観者にもならないよう、令和2年度から4年度までの3年間で、性犯罪・性暴力対策の「集中強化期間」として、教育・啓発の強化等の実効性ある取組を速やかに進めていきます。この方針を踏まえ、子供たちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、全国の学校において「生命（いのち）の安全教育」を推進することになりました。

○ 発達の段階に応じた、「生命（いのち）を大切にする」「加害者にならない」「被害者にならない」「傍観者にならない」ための教育を実施します。

○ 具体的には、生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を、発達段階に応じて身に付けることを目指すものです。 (文部科学省HP資料より抜粋)